

■ごあいさつ

なぜ子どもは人形劇が好きなのでしょう？

どうしてあんなに無心になって人形劇を楽しめるのでしょうか？

たぶん、人形にはもちろん、森の木々にも、動物たちにも、石ころにまでも命や心があると信じているからです。

あまりに早く、科学万能の世の中に放り出されてしまった子どもたちの心は、乾いています。

やさしさは、人間や万物が生命の営みを共有していると感じる気持ちが源です。

人形劇のもつ不思議な力は、きっと子どもたちを空想の世界で遊ばせることでしょう。

私たちは子どもたちをもう少し長く、ファンタジーの世界にとどめておいてあげたいと思っています。



風がはこんだ大ぼうけん

昔話『風の神と子ども』より

昔むかし、ある山すその村で起こったふしぎな事件のお話です。：山々の木の葉が色づき始めたある秋の日のことでした。いつものように村はずれのお堂の前で子どもたちが遊んでいると、どこからともなく大きなおじさんが現れて、子どもたちに「カキやナシやクリが『ざらんざらん』なっているとどこに行きたくないか」とさそいました。「知らない人に付いて行くんじゃないよ」って母ちゃんに言われているからと、一度は断りましたが、なんと、おじさんのお尻からしっぽのようなものがニルニルニルニルと伸びて：子どもたちに「しっぽにつかまれ！」と、言うが早いかビューンと空高く舞い上がってしまいました。

必死でしっぽにしがみついていた子どもたちがおそろおそろ下を見ると、空から見る山々の紅葉は、赤や黄色に色づいて、それはみごとでした。やがて、おじさんと子どもたちは山の谷あいの平地に降り立ちました。そこにはカキやナシやクリの木があり、実が「ざらんざらん」なっていました。子どもたちは大はしゃぎで秋の味覚を楽しんだり、鬼ごっこや綱ひきをして遊んでいましたが、おじさんは、またしても突然「俺は行くから、お前たちは自分で帰れ」と言います。そうして大きなおじさんは、ポカーンとしている子どもたちを残して、いずこへともなく飛び去ってしまいました。

置き去りにされた子どもたちはどつちに行けば家に帰れるのかわかりませんでしたが、とにかく歩き始めました。しかし、いつまでたっても村にはたどり着きません。どうやら迷子になってしまったようです。やがて日も暮れて、辺りは真っ暗闇に。夜の深い森の中でフクロウやムササビに驚き、オオカミに付きまとわれましたが、なんとか灯りのもれている一軒家にとどり着きました。でも、ひよっとすると、山姥の家も分かります。子どもたちは疲れと寒さと空腹で、もう一歩も歩けなかつたので、覚悟を決めて戸を叩きました。すると突然、バーンと扉が開き、今度は大きなおばさんが現れたので、子どもたちは「やっばりやまんばだ！」と腰を抜かしました。はてさて、子どもたちは無事にふるさとの村へ、あたたかい家に帰ることができるのでしょうか？——風が運んだ奇想天外な大冒険をお楽しみください。



お問合せ・お申込みは・・・

とらまる人形劇団



とどき更新中↑

一般財団法人とらまる人形劇研究所

〒712-8014 岡山県倉敷市連島中央1丁目11-7

TEL 086-486-1305 E-mail:puppet@toramaru.link

FAX 086-486-1306 <http://toramaru.link>

■とらまる人形劇団とは...

2003年からの10年間、香川県東かがわ市にあった日本で唯一の人形劇学校“パペットアーク”。この学校は一般財団法人とらまる人形劇研究所によって運営され、様々な取り組みを行ってきました。「とらまる人形劇団」はその人形劇学校の卒業生によって2005年に財団附属の専門人形劇団として旗揚げし、2013年4月から岡山県倉敷市に拠点を移しました。今年で結成20周年を迎えます。人形劇表現の追求と、地域に根ざした活動を目指す「とらまる人形劇団」に、どうぞご期待下さい。

■上演の手引き

- ・会場に特別なステージは必要ありません。
- ・舞台には間口5.4m×奥行4.5m×高さ2.7m位のスペースが必要です。
- ・上演に必要な機材はすべて持ち込みます。
- ・電気の容量は20A(アンペア)程必要です。
- ・上演効果をあげるため暗幕をご用意下さい。
- ・上演時間は約60分で、準備に90分、片付けに60分程度かかります。
- ・1回の公演定員は150名までが適当です。
- ・上演料は、観客数と距離によって異なりますので、お問合せください。
- ・ご予約はお早めに.....。